

## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 小野建株式会社 上場取引所 東 福  
 コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理統括本部長 (氏名) 小野 哲司 TEL 093-561-0036  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け・ネット上での開催）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	229,290	△1.2	6,360	△4.1	6,527	△2.3	4,416	△5.3
2019年3月期	232,164	14.3	6,632	△5.0	6,680	△7.1	4,664	△7.2

（注）包括利益 2020年3月期 4,159百万円 △11.2% 2019年3月期 4,685百万円（△5.8%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	203.60	197.84	6.4	4.2	2.8
2019年3月期	215.50	200.39	7.0	4.4	2.9

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	153,598	70,160	45.7	3,321.27
2019年3月期	158,618	68,531	43.2	3,135.12

（参考）自己資本 2020年3月期 70,160百万円 2019年3月期 68,531百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	15,203	△5,377	△10,458	1,980
2019年3月期	△4,933	△4,205	8,161	2,613

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00	1,631	34.8	2.4
2020年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00	1,285	29.5	1.9
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）2019年3月期 中間配当金の内訳 普通配当 25円00銭 設立70周年記念配当 5円00銭  
 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 設立70周年記念配当 5円00銭

（注）2021年3月期の配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を見通すことが困難であるため、未定としております。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	21,859,712株	2019年3月期	21,859,712株
2020年3月期	735,251株	2019年3月期	501株
2020年3月期	21,689,661株	2019年3月期	21,642,888株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	214,547	△1.7	5,357	△1.4	5,503	0.4	3,736	△3.7
2019年3月期	218,317	15.8	5,432	△3.0	5,481	△5.4	3,878	△5.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	172.26	167.38
2019年3月期	179.18	166.60

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	141,978	64,639	45.5	3,059.93
2019年3月期	146,984	63,657	43.3	2,912.14

(参考) 自己資本 2020年3月期 64,639百万円 2019年3月期 63,657百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の個別業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を見通すことが困難であるため、未定としております。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
(開示の省略) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、政府による各種経済・金融政策により景気は緩やかな回復が続いたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により今後の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」の一環として各拠点において販売先ニーズに対応し、付加価値向上に向け鉄鋼商品の一次加工設備の拡充等、設備投資を積極的に行うとともに、鉄筋加工業の森田鋼材㈱（非連結子会社）をM&Aするなど新規分野への参入も行いました。

業績につきましては、特に都市部を中心に景気のピークアウト感が出てきており、年度後半からは鉄鋼商品市況が軟調に推移し始めたことから、前期に対し当連結会計年度の売上高は、鉄鋼商品販売事業において販売数量の減少により2,292億90百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

損益面におきましても、鉄鋼商品市況が軟調に推移した結果、収益率が低下し、営業利益63億60百万円（前年同期比4.1%減）、経常利益65億27百万円（前年同期比2.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益44億16百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①九州・中国エリア

前期に対し、売上高は鉄鋼商品の販売数量ならびに工事請負事業の増加により増加となりました。損益は売上高が増加したものの利益率の低下により微減となりました。その結果、外部顧客への売上高は1,370億75百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は43億92百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

## ②関西・中京エリア

前期に対し、売上高は鉄鋼商品の販売数量ならびに工事請負事業の減少により減少となりました。損益は売上高の減少にともない減少となりました。その結果、外部顧客への売上高512億89百万円（前年同期比12.0%減）、セグメント利益は10億77百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

## ③関東・東北エリア

前期に対し、売上高は鉄鋼商品の販売数量ならびに工事請負事業の減少により減少となりました。損益は売上高の減少にともない減少となりました。その結果、外部顧客への売上高は409億24百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益は8億18百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

前連結会計年度末比50億20百万円減少し、1,535億98百万円となりました。主な要因は、売上高の減少による受取手形及び売掛金が減少、鉄鋼商品市況の軟化ならびに在庫数量の減少により商品が減少したことによるものです。

## (負債)

前連結会計年度末比66億48百万円減少し、834億37百万円となりました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の増加はあったものの、運転資金の減少により短期借入金が増加したことによるものです。

## (純資産)

前連結会計年度末比16億28百万円増加し、701億60百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得を行ったものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計期間末に比べ6億32百万円減少し、当連結会計期間末は19億80百万円となりました。

当連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は152億3百万円(前連結会計期間は49億33百万円の使用)となりました。これは主に、仕入債務の減少と法人税等の支払があったものの、税金等調整前当期純利益および減価償却費の計上ならびに売上債権の減少およびたな卸資産の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は53億77百万円(前連結会計期間は42億5百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得および子会社株式の取得による支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は104億58百万円(前連結会計期間は81億61百万円の獲得)となりました。これは主に、社債の発行による収入があったものの、短期借入金の返済および自己株式の取得による支出ならびに配当金の支払による支出によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が、長期化し国内外経済の更なる下振れが懸念されることから、当社を取り巻く環境が下記の要因により、厳しい状況が続くことが想定されます。

そのため、2021年3月期通期の連結業績については、現時点において下記の主懸念要因により見通すことが困難であるため、未定としております。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

## (主懸念要因)

- ・仕入先からの調達遅延
- ・輸出関連企業をはじめ販売先の業績低迷による販売の減少
- ・建設工事の中断・遅延ならびに中止
- ・鉄鋼商品市況の需要低迷による下落
- ・取引先の業績悪化による不良債権発生リスクの拡大

当社グループにおきましては、従業員ならびに関係する皆様の安全を最優先とし、社会的責任を果たすべく行政の方針・指導に従い感染拡大の防止に努めながら、取引先に対しての供給責任を果たすため、適切な対応を行ってまいります。

また、中長期的な視野に立って、従来から進めている当社の基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェア向上」に邁進し、地域密着型経営の推進を積極的に継続してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,725	5,292
受取手形及び売掛金	63,118	53,072
電子記録債権	9,306	9,719
商品及び製品	22,645	18,929
原材料及び貯蔵品	2,077	2,482
前渡金	5,769	10,382
その他	159	240
貸倒引当金	△128	△105
流動資産合計	108,673	100,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,329	30,778
減価償却累計額	△11,877	△12,798
建物及び構築物 (純額)	17,451	17,980
機械装置及び運搬具	8,591	9,885
減価償却累計額	△5,183	△5,916
機械装置及び運搬具 (純額)	3,408	3,968
土地	26,296	27,609
その他	634	671
減価償却累計額	△493	△530
その他 (純額)	140	140
建設仮勘定	611	1,212
有形固定資産合計	47,908	50,911
無形固定資産		
のれん	0	—
その他	185	178
無形固定資産合計	185	178
投資その他の資産		
投資有価証券	885	1,361
長期貸付金	23	23
従業員に対する長期貸付金	23	22
退職給付に係る資産	47	44
繰延税金資産	387	586
その他	1,401	1,402
貸倒引当金	△918	△947
投資その他の資産合計	1,850	2,495
固定資産合計	49,944	53,584
資産合計	158,618	153,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,759	23,363
電子記録債務	15,652	18,403
短期借入金	35,951	22,250
1年内返済予定の長期借入金	294	89
未払法人税等	1,072	1,075
賞与引当金	1,010	1,094
前受金	2,834	6,170
その他	1,476	3,180
流動負債合計	88,051	75,628
固定負債		
社債	—	6,029
長期借入金	287	34
役員退職慰労引当金	594	636
退職給付に係る負債	704	743
資産除去債務	164	163
その他	283	202
固定負債合計	2,034	7,809
負債合計	90,086	83,437
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,299	4,299
資本剰余金	4,302	4,302
利益剰余金	59,589	62,475
自己株式	△0	△1,000
株主資本合計	68,191	70,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	79
繰延ヘッジ損益	3	4
退職給付に係る調整累計額	30	△1
その他の包括利益累計額合計	339	82
非支配株主持分	0	0
純資産合計	68,531	70,160
負債純資産合計	158,618	153,598

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	232,164	229,290
売上原価	211,955	209,601
売上総利益	20,209	19,688
販売費及び一般管理費	13,576	13,328
営業利益	6,632	6,360
営業外収益		
受取利息	7	5
仕入割引	41	27
期日前決済割引料	33	37
受取家賃	65	66
受取保険金	56	93
その他	82	110
営業外収益合計	286	341
営業外費用		
支払利息	30	34
売上割引	54	59
社債発行費	—	18
貸倒引当金繰入額	139	—
訴訟和解金	—	45
その他	13	16
営業外費用合計	238	174
経常利益	6,680	6,527
特別利益		
固定資産売却益	326	14
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	102	—
その他	—	0
特別利益合計	428	14
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	87
投資有価証券評価損	1	29
その他	—	0
特別損失合計	3	117
税金等調整前当期純利益	7,105	6,424
法人税、住民税及び事業税	2,274	2,111
法人税等調整額	166	△102
法人税等合計	2,441	2,008
当期純利益	4,664	4,416
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	4,664	4,416



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,664	4,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	△225
繰延ヘッジ損益	81	0
退職給付に係る調整額	45	△31
その他の包括利益合計	21	△257
包括利益	4,685	4,159
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,685	4,159
非支配株主に係る包括利益	0	0

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,062	4,064	56,436	△0	64,562
当期変動額					
新株の発行	237	237			475
剰余金の配当			△1,510		△1,510
親会社株主に帰属する当期純利益			4,664		4,664
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	237	237	3,153	△0	3,628
当期末残高	4,299	4,302	59,589	△0	68,191

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	412	△77	△15	318	0	64,881
当期変動額						
新株の発行						475
剰余金の配当						△1,510
親会社株主に帰属する当期純利益						4,664
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△106	81	45	21	0	21
当期変動額合計	△106	81	45	21	0	3,649
当期末残高	305	3	30	339	0	68,531

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,299	4,302	59,589	△0	68,191
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△1,530		△1,530
親会社株主に帰属する当期純利益			4,416		4,416
自己株式の取得				△999	△999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			2,885	△999	1,885
当期末残高	4,299	4,302	62,475	△1,000	70,077

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	305	3	30	339	0	68,531
当期変動額						
新株の発行						—
剰余金の配当						△1,530
親会社株主に帰属する当期純利益						4,416
自己株式の取得						△999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△225	0	△31	△257		△257
当期変動額合計	△225	0	△31	△257		1,628
当期末残高	79	4	△1	82	0	70,160

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	7,105	6,424
減価償却費	1,828	1,831
のれん償却額	1	0
無形固定資産償却費	41	46
長期前払費用償却額	3	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△184	84
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	41	41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	865	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	47	37
受取利息及び受取配当金	△32	△30
受取保険金	△56	△93
支払利息	30	34
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	29
有形固定資産売却損益 (△は益)	△326	△13
有形固定資産除却損	1	87
補助金収入	△102	—
訴訟和解金	—	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,574	12,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,327	3,310
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	225	△32
仕入債務の増減額 (△は減少)	921	△8,257
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△125	754
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△58	190
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△151	2
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△18	△82
その他	22	△54
小計	△1,820	17,304
利息及び配当金の受取額	29	29
保険金の受取額	56	46
利息の支払額	△30	△34
下請代金返還金の支払額	△293	—
訴訟和解金の支払額	—	△45
法人税等の支払額	△2,874	△2,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,933	15,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△200
有形固定資産の取得による支出	△2,016	△4,299
有形固定資産の除却による支出	△1	△74
有形固定資産の売却による収入	747	15
補助金収入	119	—
投資有価証券の取得による支出	△5	△236
投資有価証券の売却による収入	0	—
関係会社株式の取得による支出	—	△578
無形固定資産の取得による支出	△49	△29
出資金の払込による支出	△0	—
従業員に対する長期貸付けによる支出	△16	△19
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	14	21
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1	23
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,205</b>	<b>△5,377</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,051	△13,701
長期借入金の返済による支出	△294	△458
社債の発行による収入	—	6,030
社債の償還による支出	△3,085	—
自己株式の取得による支出	△0	△999
配当金の支払額	△1,510	△1,529
その他	—	200
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,161</b>	<b>△10,458</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△977</b>	<b>△632</b>
現金及び現金同等物の期首残高	3,590	2,613
現金及び現金同等物の期末残高	2,613	1,980

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に鉄鋼・建材商品の販売及び一部工事請負を国内各地域において行っており、各拠点において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「九州・中国」、「関西・中京」及び「関東・東北」の3つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	九州・中国	関西・中京	関東・東北	合計
売上高				
外部顧客への売上高	128,337	58,250	45,576	232,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,426	6,889	427	16,743
計	137,764	65,140	46,004	248,908
セグメント利益	4,405	1,339	909	6,654
セグメント資産	69,684	42,898	40,457	153,040
その他の項目				
減価償却費	302	929	616	1,848
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,094	1,719	41	2,856

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	九州・中国	関西・中京	関東・東北	合計
売上高				
外部顧客への売上高	137,075	51,289	40,924	229,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,190	7,419	625	16,235
計	145,266	58,709	41,549	245,525
セグメント利益	4,392	1,077	818	6,288
セグメント資産	71,012	40,698	35,622	147,333
その他の項目				
減価償却費	287	1,019	554	1,861
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,026	2,333	97	5,457

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,654	6,288
セグメント間取引消去等	25	25
のれんの償却額	△1	△0
棚卸資産の調整額	△46	46
連結財務諸表の営業利益	6,632	6,360

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	153,040	147,333
セグメント間取引消去等	△4,589	△4,661
のれん	0	—
棚卸資産の調整額	△118	△71
全社資産(注)	10,285	10,997
連結財務諸表の資産合計	158,618	153,598

(注) 全社資産は、主に当社の現金及び預金、管理部門に係る資産等であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,848	1,861	—	—	20	15	1,869	1,877
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,856	5,457	—	—	1	28	2,858	5,486

(注) 減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係るものであります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,135.12円	3,321.27円
1株当たり当期純利益	215.50円	203.60円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	200.39円	197.84円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,664	4,416
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,664	4,416
期中平均株式数(千株)	21,642	21,689
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	△2	△0
(うち支払利息(税額相当額控除後) (百万円))	(△2)	(△0)
普通株式増加数(千株)	1,621	627
(うち転換社債型新株予約権付社債 (千株))	(1,621)	(627)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## (開示の省略)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

リース取引、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、税効果会計、企業結合等、資産除去債務、賃貸等不動産、関連当事者情報に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。